

## 第2回子ども司書推進全国研究大会 開催要項（案）

### 1 趣 旨

新しい学習指導要領は、平成23年度の小学校に続き、今年度は中学校で全面実施された。今回の学習指導要領改訂では、教育基本法の改正等で明確となった教育の理念を踏まえ、①「生きる力」を育成すること、②知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等のバランスを重視すること、③道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成することを基本方針としている。こうした改訂の基本方針を踏まえ、教育内容に関する主な改善事項の1つに、「言語活動の充実」が示されている。各学校では思考力・判断力・表現力をはぐくむ観点から「言語活動の充実」のため、各教科等の指導において、実践研究がなされているところである。このような中、昨今のテレビ・ビデオ・インターネット等の情報メディアの発達により、子どもの生活環境は大きく変化し、活字離れや読書離れが指摘されている。もとより言語環境を整え、子どもたちに他者とのコミュニケーションをとおして言語による表現力や感性を身につけさせることは重要課題である。

このようなことを踏まえ、全国の各自治体で先駆的に取り組んでいる関係者が一同に会し、子ども司書活動について研究協議することは大変意義のあることと捉え、本研究大会を開催するものである。

### 2 開催日

平成24年11月30日（金）午後2時30分～午後5時00分

### 3 会 場

三郷市文化会館小ホール

### 4 主 催

埼玉県三郷市・埼玉県三郷市教育委員会

### 5 共 催

子ども司書推進全国協議会

### 6 企画・協力

家読推進プロジェクト

### 7 参集者

全国子ども司書養成実施自治体関係者及び近隣市町村、市内学校関係者及びPTA関係者等

### 8 開催内容（概要）

14：30 開会行事

○三郷市長歓迎のことば

○来賓紹介

14:40～15:30 (50分)

○基調講演 演題「 」

宮城県女川町教育委員会社会教育指導員  
女川つながる図書館担当 元木 幸市 氏  
<プロフィール>

平成22年から「女川絵本館」を作ろうと準備。平成23年6月の開館目前、3月11日に大津波で多大な被害を受ける。同氏は、仲間を励ましつつ図書館の屋根裏部屋に避難し、九死に一生を得る。震災2か月後、子どもたちの心のケア対策で学校の空教室に救援物資の絵本を集めて「ちゃっこい絵本館」を創設。今年は、大人向けの図書館をつくるとともに、町内外の避難者を支援するための推進役として「子ども司書」育成に取り組んでいる。

15:35～14:00 (25分)

○三郷市の取組発表 (子ども司書と公立図書館・学校)

※子ども司書の発表 (読み語り) と三郷市子ども司書の概要説明発表等

～休憩 約10分～

16:10～17:00 (50分)

○シンポジウム (先進地事例発表等)

○コーディネーター

子ども司書推進全国協議会理事長 高信 由美子 氏

○シンポジスト

①千葉県八街市立図書館司書 高橋 みち子 氏

②福島県矢祭町教育委員会教育課生涯学習グループ 下重 淳子 氏

③栃木県小山市立中央図書館長 菊地 きよ子 氏

④千葉県柏市教育委員会指導課指導主事 中田 敦子 氏

⑤埼玉県三郷市教育委員会生涯学習課読書活動支援員 福田 孝子 氏

17:00 閉会行事

○三郷市教育長あいさつ

～レセプション会場へ移動～

18:00～歓迎レセプション

三郷市ピアラシティー交流センター (平成24年7月開館予定)

9 その他

【小ホールホワイエ】・市内小・中学校、公立図書館、幼稚園等の取組紹介展示

【大ホールホワイエ】・参加自治体の家読に関するパンフレット等を展示